

# 認知症ケアパス ～認知症の進行と主な症状やサービス～

認知症の初期から進行して変化していく状態に応じて、どのような支援があるかを大まかに示したものです。なるべく早い時期から支援について知っておくことは、認知症の人の理解やケアに役立ちます。

気づき～軽度

重度

	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 (症状や行動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物忘れはあるが金銭管理や買い物、書類作成など日常生活は自立</li> <li>●会話の中で「あれ」「それ」などの代名詞がよく出てくる</li> <li>●同じことを言う</li> <li>●物がなくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●買い物は同じものを何度も買う</li> <li>●お礼でしか支払えない</li> <li>●調理の段取りや家計の管理に支障をきたす</li> <li>●身なりを気にしなくなる</li> <li>●意欲の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●季節に合った服を選ぶことができない</li> <li>●服を着る順番がわからなくなる</li> <li>●外出先から一人で戻れなくなる事がある</li> <li>●時間や場所がわからなくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トイレの場所がわからなくなり、排せつの失敗が増える</li> <li>●食べ物でないものを口に入れる。</li> <li>●日常生活で常時介護が必要となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言葉によるコミュニケーションが難しくなる。</li> <li>●介護なしでは日常生活を送ることができなくなる</li> </ul>
家族の心構えや準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「おかしい」「いつもと違う」と思った時には早めに相談しましょう</li> <li>◆今後のことも考えてかかりつけ医を持つようにしましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆本人の役割を全て奪わず、できることはしてもらう できるだけ失敗をさせない対応と、失敗が最小限になるようさりげないフォローをしましょう</li> <li>◆介護・医療について知りましょう 認知症を引き起こす病気により経過や介護の方法が異なります。周囲が適切に対応することにより、穏やかな経過をたどることが可能となります</li> <li>◆介護する家族の休息も大切に 全て抱え込まずに上手に介護保険サービスを活用しましょう。家族の会などで話を聞いたり、自分の気持ちを話せる場所をつくることも重要です</li> </ul>			
相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域包括支援センターなど</li> <li>◎居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）など</li> </ul>				
介護予防 悪化予防	◎サロン・介護予防教室・高齢者の居場所・老人クラブなど		◎通所介護、訪問介護		
	◎シルバー人材センター・ボランティアなど				
他者との つながり	◎サロン・介護予防教室・高齢者の居場所・老人クラブなど		◎通所介護、訪問介護		
	◎認知症カフェ				
見守り	◎民生委員・認知症サポーター・安心キット・シルバーSOSネットワーク宮古				
	◎緊急通報装置・お元気発信・配食サービスなど				
身体介護	◎通所介護・訪問介護・小規模多機能型居宅介護				
	◎訪問入浴				
家族を 支援する	◎認知症介護家族のつどい・認知症カフェなど シルバーSOSネットワーク宮古				
	◎介護給付券				
権利を守る	◎成年後見制度（任意後見制度）	◎日常生活自立支援事業		◎成年後見制度（法定後見制度）	
医療	◎かかりつけ医・認知症サポート医・認知症専門医・地域型認知症疾患医療センター				
住まい	◎養護老人ホーム・ケアハウス・サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホームなど			◎認知症グループホーム・特別養護老人ホーム・有料老人ホーム	